

令和3年度指定管理者評価シート

別紙 1

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市年輪荘						
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市緑区大字中尾1404番地</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、養護老人ホーム及び老人デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設。</p> <p>③施設の概要 ・開設年月日 昭和42年6月(平成4年5月全面改築、平成21年3月改修工事、令和3年11月～中規模修繕工事) *平成4年5月～ デイサービスセンター事業開始</p>						
(3)指定管理者	社会福祉法人 埼玉県共済会						
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度 21,369千円 令和2年度 16,374千円 令和3年度 20,407千円</p>						
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・養護老人ホーム 平均入所者数及び稼働率 45.3人、90%(前年度 47.3人、94%) 延べ短期入所利用者数 16,535人(前年度17,253人) ・老人デイサービスセンター 延べ通所者数 1,794人(前年度4,260人) 平均通所者数及び稼働率 11.4人、63%(前年度 13.8人、76%) ◇業務実施状況 養護老人ホーム及び老人デイサービスセンターともに、新型コロナウイルス感染対策の予防に努め、新しい生活様式を取り入れながら基本理念・基本方針を基に入所者、利用者の立場に立った運営を行いました。また、市の公共マネジメント計画により中規模修繕工事が施工され、敷地内に仮設住宅を建て仮設での生活が始まり、入居者は慣れない生活に混乱を招きましたが、繰り返し説明と課題をひとつひとつ解決しながら対応し、入所者の安全安心に努めました。養護老人ホームについては、経済的困窮者や虐待ケース等、セーフティネットとしての機能を果たし多様化した入所者が自立した生活を送れるよう、個別処遇計画に基づき自立支援及び介護予防と身体機能の維持に努めました。老人デイサービスセンターについては、在宅で可能な限り暮らすため、サービス提供表に基づいたサービスの提供と日々の連絡帳により利用者、家族の要望を取り入れサービス内容の見直しを行うとともに、職員ミーティングを通じて更なるサービスの向上と改善に努めました。</p> <p>②維持管理業務の状況 施設管理業務計画書を基に建築設備、昇降機、自動ドア、消防設備、機械設備、給排水設備等の法定、定期点検の実施を行いました。また、居室や厨房などへの消毒や館内のワックス清掃を定期的に行い、安全な生活が維持できるよう努めました。11月からは中規模修繕工事の第1期工事が始まり、主に空調、電気、給排水等の大型設備の改修や機器の更新が段階的に進められています。</p> <p>③その他の業務(自主事業等) 4月 花祭り、親睦会総会の開催 7月 セタ、ランチツアー(出前)、誕生会、健康診断 9月 敬老会、創作作品展、誕生会 11月 誕生会、防災訓練、県入園者創作作品展(オンライン開催) 12月 大掃除、クリスマス会、 2月 節分 5月 誕生会 8月 夏祭り(食事のみ) 10月 さんま焼き大会、健康診断 1月 誕生会、新年会 3月 防災訓練、花見 ・各種教室(陶芸、俳句) ・クラブ活動(園芸、習字)</p>						
(6)収支状況	<table border="0"> <tr> <th>(養護老人ホーム)</th><th>(デイサービスセンター)</th></tr> <tr> <td>①収入 ・措置費収入 121,001千円(前年度 124,307千円) ・指定管理料収入 18,846千円(前年度 14,245千円) ・その他収入 1,429千円(前年度 2,623千円)</td><td>①収入 ・介護保険収入 18,939千円(前年度 44,892千円) ・指定管理料収入 1,560千円(前年度 2,129千円) ・その他収入 39,556千円(前年度 1,039千円)</td></tr> <tr> <td>②支出 ・人件費支出 81,995千円(前年度 80,547千円) ・事業費支出 33,855千円(前年度 32,378千円) ・事務費支出 20,366千円(前年度 22,743千円) ・その他支出 21,650千円(前年度 3,230千円)</td><td>②支出 ・人件費支出 15,819千円(前年度 28,960千円) ・事業費支出 3,073千円(前年度 6,724千円) ・事務費支出 2,283千円(前年度 7,695千円) ・その他支出 68,355千円(前年度 711千円)</td></tr> </table>	(養護老人ホーム)	(デイサービスセンター)	①収入 ・措置費収入 121,001千円(前年度 124,307千円) ・指定管理料収入 18,846千円(前年度 14,245千円) ・その他収入 1,429千円(前年度 2,623千円)	①収入 ・介護保険収入 18,939千円(前年度 44,892千円) ・指定管理料収入 1,560千円(前年度 2,129千円) ・その他収入 39,556千円(前年度 1,039千円)	②支出 ・人件費支出 81,995千円(前年度 80,547千円) ・事業費支出 33,855千円(前年度 32,378千円) ・事務費支出 20,366千円(前年度 22,743千円) ・その他支出 21,650千円(前年度 3,230千円)	②支出 ・人件費支出 15,819千円(前年度 28,960千円) ・事業費支出 3,073千円(前年度 6,724千円) ・事務費支出 2,283千円(前年度 7,695千円) ・その他支出 68,355千円(前年度 711千円)
(養護老人ホーム)	(デイサービスセンター)						
①収入 ・措置費収入 121,001千円(前年度 124,307千円) ・指定管理料収入 18,846千円(前年度 14,245千円) ・その他収入 1,429千円(前年度 2,623千円)	①収入 ・介護保険収入 18,939千円(前年度 44,892千円) ・指定管理料収入 1,560千円(前年度 2,129千円) ・その他収入 39,556千円(前年度 1,039千円)						
②支出 ・人件費支出 81,995千円(前年度 80,547千円) ・事業費支出 33,855千円(前年度 32,378千円) ・事務費支出 20,366千円(前年度 22,743千円) ・その他支出 21,650千円(前年度 3,230千円)	②支出 ・人件費支出 15,819千円(前年度 28,960千円) ・事業費支出 3,073千円(前年度 6,724千円) ・事務費支出 2,283千円(前年度 7,695千円) ・その他支出 68,355千円(前年度 711千円)						

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	入所者アンケート調査(年2回10月、1月)、親睦会(年6回偶数月)、懇話会(年2回6月、11月)、ご意見箱の設置などから意見や要望等を確認し、検討した結果を速やかに館内掲示と口頭説明を行い対応しました。今回、コロナ禍にて外出の自粛の影響もあり、再度アンケート調査を実施した結果、買い物に行けないことへの要望が多く、その対応として職員が代行にて購入したり、スーパー等までの送迎の実施や通常の訪問販売を2ヶ月に1回から1ヶ月ごとに販売出来るよう体制を整え実施しました。また、余暇的な活動については名画鑑賞会や出前ランチ等を実施しました。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
施設の管理運営体制について	組織としての管理運営体制は、①業務体制である全体職員会議(毎月)をはじめ、現場職員会議(養護)、ミーティング(デイ)、個別支援検討会議、給食会議、事業計画(行事)会議、事故・ヒヤリ検討会議があり、②危機管理体制としては安全対策委員会、身体拘束・虐待防止委員会、防災対策委員会、セキュリティ対策委員会、苦情処理委員会、事故調査委員会を設置し、職員一人ひとりが責任と役割を持ち情報の共有化を図るとともに、課題の検討に努めました。
養護老人ホーム入所者ニーズに対応できる体制について	年々、入所者の多様化や身体機能低下に伴い職員配置基準を上回る人数を配置し、必要な時間帯に活用できるようパート職員の配置や夜間は夜勤体制としての体制を継続して対応しました。また、市町村からの入所又は緊急ショートステイの依頼があった場合は、感染対策に準じて受入れ可能な環境体制(隔離部屋)を整え対応しました。 日々の生活においてはニーズを引き出すために、本来持っている力や良いところに焦点を当て、意欲や自信を取り戻す過程を援助し更に、個別の処遇計画を作成し自立への支援を実施しました。
デイサービス利用者ニーズに対応できる体制について	利用者が在宅での自立した生活が続けられるよう、配置基準を上回る人員体制を配置し、関係機関と連携を取りながらサービス計画表に沿って運動機能向上訓練や協力歯科医院と連携した口腔機能の向上サービスを提供しました。 また、家族や本人のニーズに対しては、日々の連絡帳にて把握し必要に応じたサービスの提供を行うとともに、明るく楽しく活力のある体制作りにも努めました。
経費縮減方策について	施設管理業務計画書を基に定期点検等を実施し、不具合箇所の早期発見・早期改善により安全管理に努めました。 光熱水費においては、電力会社の変更により基本料金は削減できたが、電力量が高騰していることもあり、更なる削減が必要。その他、夏季・冬季における年輪荘節電対策を周知と掲示し、施設の入所者などの協力をいただきながら、経費の節減に努めました。
施設の安全及び衛生管理への配慮について	中規模改修工事に伴ない、工事の説明や仮設住宅での生活等、説明会を繰り返し実施し、入所者が不安や混乱がないよう努めました。また、入所者からの要望にて仮設住宅の外階段に手摺を設置し安全対策に努めました。防犯対策では館内巡視と防犯カメラによる不審者等の確認点検と夜間は警備員による巡回にて安全対策に努めました。 新型コロナウイルス感染症対策においては、安全対策委員会にて随時開催し知識や情報の習得と感染の未然防止に努めました。具体的には通常の感染対策の他に、検温、換気と密集する場所には密にならないよう配置と指導を行い、食事時にはテーブルに飛沫防止シートの設置を行い感染対策に努めました。また、職員から感染する傾向がみられることから、健康管理、外出自粛等の協力依頼、定期的なPCR検査の実施などで対策を行いました。衛生管理については食中毒・感染症予防マニュアルも適宜見直し、食中毒等が発生した場合の発生状況の把握や拡大の防止、医療処置等の対応について職員間で共有し実施しました。
緊急時の対応などの危機管理体制について	随時更新した職員緊急連絡網を各部署に配布し、緊急時及び関係機関との連携図も作成し迅速な対応が行えるよう周知徹底しました。また、緊急時マニュアル及び事故防止マニュアルなどにより、日頃から事故防止に努めるとともに、事故・ヒヤリハット調書を作成し、事故・ヒヤリ検討会議にて情報を共有し重大な事故に繋がらないよう対応に努めました。 自然災害においては防災対策委員会にて、事前に協議し対策の環境と体制を整え対応しました。その他、工事に伴い入所者が仮設等に分散されていることから、仮設住宅での昼間と夜間の火災を想定した防災訓練を実施し課題の追及を行い、いざという時のために対応できるよう努めました。
職員の教育・研修などの資質向上について	新人職員に対してはマニュアルの活用を行い、必要な知識や技術を習得し、振り返り面談を実施しながら対応しました。また、資質の向上については上司との年2回の目標管理制度による面談を実施し、組織力を高め入所者への一層のサービス向上に努めるよう指導しました。並行して研修意向調査のもと、個別職員研修計画を作成し、受講後には「研修受講ふり返しシート」の活用にて自己評価を行い、職員間での情報の共有化を図りました。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

(養護老人ホーム入所者の処遇・確保)

養護老人ホームにおいては、入所者像も多様化しているなか、新型コロナウイルスの影響と中規模修繕工事もあり入所率は前年度より減少となりましたが、引き続き各市町村及び地域定着支援センターや精神科病院等へ訪問活動等を行い、連携と情報収集を図りながら本来のセーフティネットとしての役割を意識し、入所者確保に努めて行きます。処遇に関しては入所する時点から見守りなどの支援が必要で、且つ入所者の高齢化に伴う身体機能の低下や認知症などで、要介護度の判定を受けている方々が定員の約5割となっていることから、社会資源の活用にて介護保険サービスの導入などにより、日常生活全般にわたる支援や援助に努めました。また、入所者全員を対象とした個別の処遇計画を作成し、リハビリやレクリエーションなどを実施し認知症予防や寝たきりの状態にならないよう最大限の維持向上に努めました。

(デイサービスセンター利用者の処遇・確保)

デイサービスセンターにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もほとんどなく、たくさんの方々に変わらず利用して頂き、また、感染予防に努め、感染者を出すことなく営業することができました。中規模修繕工事にともないデイサービス棟も一時的に養護老人ホームの仮設居室としなければならず、やむを得ず9月末までの休止となる旨を利用者には早期に通知しましたが、早々に他の事業所へ変更されることなく、多くの方が事業の最終日まで利用していただき、一定数を維持することができました。

処遇に関しては利用者の健康と食べる楽しさを感じていただくために、協力歯科医院と連携した口腔機能向上サービスを提供しました。また、生活に変化と潤いを持っていただくために毎年行ってきた買い物ツアー等の外出は、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、その分、利用者と個別に関われるよう努めました。

(地域との連携)

新型コロナウイルスの影響もあり地域との関わりがほとんど実施されず、入所者においても閉ざされた環境となりましたが、今後ワクチン接種や感染状況など確認しながら、感染対策を行い入所者が地域の方々とふれ合える環境づくりに努めてまいります。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・新型コロナウイルスや中規模修繕工事の影響もあり、養護老人ホームの入所率は前年度より減少しているが、入所者からの要望として挙げられた買い物代行や訪問販売の回数を増やしたり、名画鑑賞会や出前ランチ等の余暇的な活動を実施したりするなど、適宜対応し利用者の満足度向上に努めた点を評価した。

・デイサービスセンターは中規模修繕工事に伴い年度途中で休止となったが、利用者のニーズに合わせたサービスを提供することで、多くの方に休止となる直前まで利用していただくよう努めた点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・施設独自の節電対策により、施設職員のみならず入所者の協力も得ながら光熱水費の削減に努めている点を評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルスや中規模修繕工事により、例年と比較してより慎重な管理運営が求められたが、入所者への不安や混乱が生じないよう努めた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。